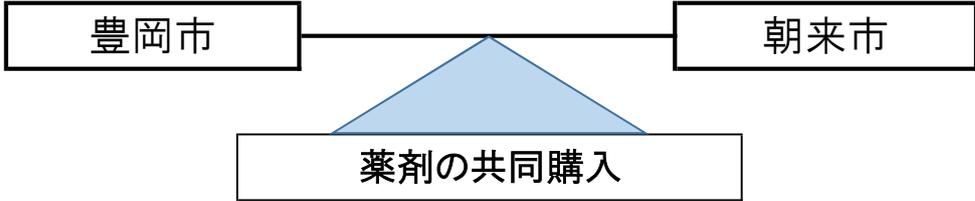


事例の種類・名称	事例の種類	事例の名称
	【共同発注】	豊岡市と朝来市による薬剤の共同購入
事業規模等 (豊岡市)	給水人口 : 76,931 人 1日最大給水量 : 42,268 m ³ /日 給水面積 : 698 km ² (豊岡市の面積) 職員数 : 【直営】 24 人【第三者委託】 0 人【委託】 39 人	※ 数値は、令和3年3月31日時点。 (職員数は、令和3年4月1日時点)
事業規模等 (朝来市)	給水人口 : 29,199 人 1日最大給水量 : 17,912 m ³ /日 給水面積 : 36.01 km ² 職員数 : 【直営】 4 人【第三者委託】 0 人【委託】 6 人	
スキーム等	 <p>【共同購入の内容】</p> <p>次亜塩素酸ナトリウム6%溶液(20kg/箱)のみ共同購入 ○豊岡市2020年度納入実績 N=690箱 ○朝来市2020年度納入実績 N=750箱 豊岡市において、単価決定後それぞれの市で契約</p>	
経 緯	① 水道事業広域連携につきましては、2016～2017年度で兵庫県が中心となり「兵庫県水道事業のあり方懇話会」が開催されました。 ② 2018年度以降は各地域における取組の情報共有や地域間連携の協議、先進事例の情報提供を行い、広域連携等の気運を醸成させる場として県内水道事業者等を対象とした全体会議や地域ブロック別の会議が開催されました。 ③ 2020年度は、朝来市との薬剤共同購入の実施を行いました。 ④ 2021年度については、朝来市は辞退され、新たに香美町と連携を行うことになりました。	
共同発注に伴うメリット	① 共同発注に伴い、2市町の関係性・信頼感が深まった。 ② 広域化が可能であれば、事務の軽減につながる。	
共同発注に伴うデメリット	今後想定される課題 … 薬剤については、広域になると納入箇所、時期などの違いがあり、予算的には上がる傾向がある。	
業務形態	公公連携 … 薬剤の共同購入業務	